

令和7年度も最終登校日を迎えました。

塔陵祭や体育大会、球技大会などの学校行事で盛り上がり、マラソン大会でも最後まで頑張る姿に感動しました。

「こっこくらぶ」の生徒が「卵フェス」で全国3位になったり、「ひょうごスクールアワード2025」で最優秀賞の兵庫県知事からの表彰を受けるなど素晴らしく、本校のみんなの頑張りだと思います。特に普通科の3年生も、今年度は国公立大学7名合格（昨年度2名）と最後まで頑張ってくれました。各学科での行事も充実して頑張ってくれた1年だったと思います。

さて、今日は、今から何十年も前に、周りが田んぼばかりで稲がある状況の中に、木造の校舎が建っていた頃の大阪での話を例に「ここだなあ」の話をします。

超大型台風が、関西を直撃したときに、大阪のある学校で、先生をはじめ大勢の生徒達が、荒れ狂う風にもまれ、ぶきみにきしむ校舎の中で、どうしたらよいものかと、生きた心地もなくて途方に暮れていました。

一人の教師がそのとき、敢然と立って叫んだ。

「みんな、風に向かって出ろ」生徒達は、外へ飛び出した。

しかし、出るには出たが、たちまち風に飛ばされてしまいました。

自然に風下へ、風下へ行こうとする。

「それではダメだ。はって、田んぼへ出て、稲にすがって進むんだ」

教師のえらい剣幕に驚いて、子供達は田んぼへ出て、稲につかまって進んだ。

まもなく大音響がとどろき風下へ校舎が倒壊したが、一人の死傷者もでなかった。

人生また然りで、落ち着いてどんなことにも動ぜずに、苦難に向かってゆけば良いと、いくらわかっていても実行するのが難しい。

朝起きてから夜寝るまでに、気にくわないことが山ほどありませんか。

苦しいことや、悲しいことや傷つくことは多いですが、喜ぶことは少なくないですか。そんな時、「ここだなあ」と思ってみたらどうでしょう。

忍耐というのは「ここだなあ」と思い出せば、苦労も軽くなる。

親切というのは「ここだなあ」と思えば、イヤ味なく接せられる。

勇気とは、「ここだなあ」と思えば、許せないことでも許せるようになってくる。と思います。「ここだなあ」の稲にすがって、苦難の嵐に向かって今より一歩でも前進してください。

3学期の始業式で、本校は令和8年から、「クリエイト・ハイスクール～新しい学びで新しい価値を創造する高校～」をスローガンに掲げ、「学科協働」と「地域協働」を柱にして取り組むことを伝えました。

先日発表されましたが、令和9年度入学生から、農業科学科をアグリクリエイト科に改編し、家政科をライフクリエイト科に改編することをしました。農業科学科は平成18年依頼21年ぶり、家政科は昭和24年以来78年ぶりの改編になります。これまで農業科学科や家政科の皆さんが頑張ってきた学びを引継いで、新たな取組をスタートします。今の農業科学科や家政科の人たちにも、先取りで学べることをやっていきたいと思います。普通科も新たな改編を進めていきたいと思っています。

体育館の入口には、高級車を買ってもお釣りができるくらいの最新型の真っ赤なトラクターを県教育委員会に買ってもらいましたので展示しています。素晴らしくかっこよいと思います。本校の新たな学びにつなげられたらと思いますので、見ていない人は是非見てみてください。

今日の午後は合格者説明会が行われ、いよいよ81回生の新1年生がやってきます。

2年生の皆さんは、いよいよ最高学年となります。後輩たちから憧れる見本になってください。1年生の皆さんは、それぞれの中核学年として支えてください。何事にも精一杯頑張ってくれることを期待しています。

明日から15日間の長期の春休みになりますが、身体に気を付けるとともに、時間を有効に使って、4月8日にまた元気な顔を見せてください。